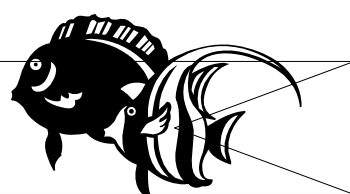


6月のイベント情報



和賀川源流独り占め(NPO 法人里山自然学校はずみの森)

6月5日(土)
7:00~17:00(集合 6:50)
はずみの里集合
0191-82-3857(申込締切 5/31)
メモ用紙・筆記用具・レインコート・軍手・弁当
帽子・長靴・長そで・長ズボン

パパ広場(NPO 法人いちのせき子育てネット)

6月6日(日)
10:00~16:00(ボランティアも募集しています)
おやこ広場(いちのせき市民活動センター内)
0191-26-6400(岩淵)

ベビーマッサージ(NPO 法人いちのせき子育てネット)

6月6日(日)
11:00~11:30
オイルマッサージではないので持ち物は不要です。

てんとう虫教室(NPO 法人アートで明るく生きるかわさき)

6月8日、6月22日
10:00~15:00
川崎公民館研修室
0191-43-4733(ボランティアも募集しています)
おにぎり、パンダナ、エプロン、お茶代持参
障がいのある方との交流を目的とした調理実習です。

セラピー講座(風と虹の教室)

6月10日(木)
10:00~11:00「おうちで出来るヒーリング手当術」
風と虹の教室(花泉町金沢字要害 30・刈生沢コセン近く)
kazetoniji@flute.ocn.ne.jp(要予約)
タオル・3000円持参



6月のボランティア情報

一関清掃活動(JT)

6月5日(土)
11:00~12:00(出発式 10:50~)
新鮮館おおまち前集合
事前申し込み・持ち物不要

磐井川堤防除草(NPO 法人北上川流域連携交流会)

6月12日(土)
6:00~8:00
一関上の橋~磐井橋土手
草刈鎌、軍手、長靴持参のうえ安全な服装で参加
0191-31-6331

萩荘野焼祭り参加準備(一関市少年少女発明クラブ)

6月22日(日)/27日(日)
10:00~12:00
森上製作所(0191-24-2588)
作業のできる服装・スプーン持参

ホテル観察会(NPO法人北上川サポート協会)

6月26日(土)
18:30~※雨天中止
門崎小学校前集合→風呂川で観察
0191-36-5666
長そで/長ズボン/スニーカー推奨

第12回どんぐりの会チャリティ(どんぐりの会)

6月27日(日)
10:00~13:00
真柴コミュニティセンター
0191-25-3452(北岡)(ボランティアも募集中です)
障がいのある方と舞台発表会で交流します。

障がい者乗馬会(パカポクラブ)

6月27日(日)
10:00~12:00
佐々木牧場
0191-82-5584(ボランティアも募集しています)
障がいのあるお子さんで体重 65kg 以下の方

そろばん体験学習会(NPO 全国地域学習振興会)

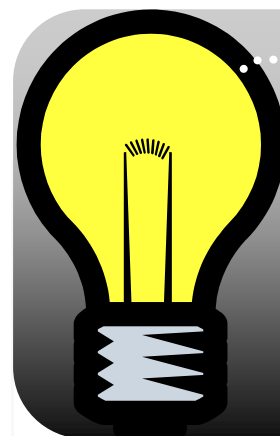
毎週月曜~金曜
16:30~17:30
認定教場
0191-23-5798(小野寺)

育児スタッフ(NPO 法人いちのせき子育てネット)

毎週月曜~金曜
10:00~16:00
子どもと一緒に遊んでくれる方を募集しています。

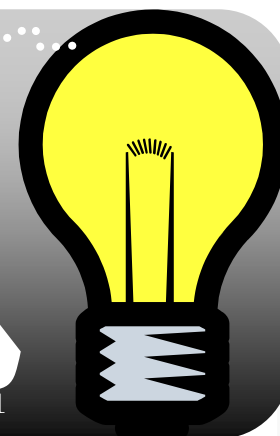
有給スタッフ(事務職員)募集(NPO 法人グリーンハート)

9:00~17:00(休日:土日祝日)
在宅勤務(県内在住のこと)
パソコン、インターネット接続環境
office@greenheart.cdx.jp
詳細はメールにてお問い合わせください。
折り返し募集要項を送ります。



idea

平成 22 年 5 月 25 日 いちのせき市民活動センター Newsletter vol.1



独り言...

一関市の委託事業として、当センターの活動も今年で3年目を迎えました。市民活動や自治会活動など地域の課題解決に向けた住民の自発的な行動が、ここ最近活発になったと感じ、こうした市民の機運の高まりは、今後のまちづくりに大きな期待が持てます。

テーマ型の市民活動、地域の底力型の地域づくり活動を自主自立に向けられるよう、本年度のセンター事業が始まりました。新たなスタッフも加わり、3人体制で窓口ホスピタリティの強化、共感、信頼をテーマに活動していきます。

いちのせき市民活動センター News letter「idea」は、市民活動がアイデアを持って、NPOと行政や企業、市民との出会い(deai)の機会を創り出すことを目的とした情報誌です。センター情報をはじめ、管内の市民活動団体情報や行政情報をお届けします。

いちのせき市民活動センター

月曜日~金曜日 10:00~19:00

水曜日/土曜日 10:00~16:30

(ただし、日曜日・祝日・年末年始を除く)

〒021-0881 岩手県一関市大町4-29 新鮮館おおまち内

tel&fax 0191-26-6400

e-mail center-i@tempo.ocn.ne.jp

ちょこっと
紹介

ご当地スイーツ入荷！-Point1-

Point 1 は、4月よりハンズわあははクラブによる小さなカフェコーナーと授産施設製品・一関の地域限定特産品などを販売するショップを開設しました。

大町では Point1 でしか手に入らない、ご当地スイーツを各種ご用意しております。カフェコーナーご利用の方にはわあははクラブ特製のクッキーをサービスしています。どうぞお越しくださいませ。

かぶらムース



幻の味と言われた室根産の「矢越かぶ」を使用しています。室根町第12区自治会ひこばえ食工房で生産をしています。(150円)

とまとアイス

大東町のトマトを使用し、着色料や甘味料は一切使用していません。大東町ふるさとの味研究会ファイトクラブが愛情をこめて作りました。(250円)



桑の葉ジェラート

大東には、多くの桑の葉畑があります。いわいの里ふるさとづくり研究会と KOZENJ cafe が、葉無農薬栽培された桑の葉を利用して、ジェラートを作りました。(320円)



Point 1

〒021-0881 岩手県一関市大町 3-48

TEL 0191-48-3622 FAX 0191-48-3623

URL <http://hands-iwate.org/point1/>

運営 (特活) レスパイトハウス・ハンズ

センター事業紹介

一関スタイル協働アクションプラン策定に向けて



一関市が合併して5年目を迎えましたが、合併当初と比べ人口減少や長引く地域経済の不振など情勢も大きく変化しているところです。平成12年に地方分権一括法が施行され、行政も中央集権型からその地域に合った独自の自治を行っていくことが求められています。

一関市でもこれまで様々な取り組みがされてきましたが、市民ニーズの多様化・高度化が進み、市民が主体となったまちづくりへの転換が求められ、市民意識が徐々に高まっ

てきています。また、行財政の悪化に伴う職員の削減など市民が満足できる行政サービスを提供できない社会情勢となつてきています。こうした現状を踏まえ、協働という手法により、より良いまちづくりを進めようと、行動計画を策定することとなりました。既に行動計画が施行され実施している自治体もある中、決して早い取り組みではありませんが、昨年6月から第一次の準備委員会の協議を経て、本年1月から第二次の協働推進アクションプラン検討委員会を設立し、市民・行政の各層の委員から様々な角度から市民と行政の役割や協力、連携のあり方、今後の進むべき方向や事業のあり方など「協働」に対する基本的事項について議論を展開しながら、協議を進めています。

現在の「協働推進アクションプラン検討委員会」は、第一次の準備委員会の提言から、「65人」の「具体的に策定作業に取り組む策定会議」として完成目標を6月と定め、1月13日から議論しています。委員会は65人の委員が集まる全体

会、65人の委員の意見を整理する素案検討部会(15人)の2部構成とし、その中から行政側事務局と市民側事務局を設置し、一関スタイルの協働を模索することとしました。

委員の協働に対する意識共有を図るため、自分の身近な協働の事例、自分が思い描く協働の事例を話し合い、119もの事例をあげ、その事例を整理することで、協働の指針・理念・定義へと進めていきました。

理念については、一関市の総合計画で示されている将来像「人と人、地域と地域が結び合い未来輝くいちのせき」をつくるため、各主体が協力連携し、①住みよいまちづくり ②絆を深めみんなが幸せなまちづくり ③地域の良さを活かしたまちづくりの3点を理念の柱とすること。

必要性については、「そこに住み、働く人の幸せのために身近な地域(自治会等小さな地域)を大事にしましょう。」という意識を広めながら、信頼関係を構築して、各主体が連携しながら共通の課題に取り組むこと。



定義については、一関スタイルとして、「市民と行政がお互いの立場を尊重し、公共的、公益的な活動を継続的な話し合いによって協力して行動すること。」と考えます。

6月の完成に向け、振り返りをしながら、他の項目及び行動計画についても検討しています。一関スタイルの協働を作り上げるために、今後も継続した話し合いは続きますが、完成目標まで、あと1ヵ月です。

市民活動
紹介

一関世代にかける橋(B. R. G)

一関世代にかける橋(B. R. G)は、青年たちが中心となり、世代を超えて子どもや障がいのある人たちとの交流を行っている任意団体です。

子供たちに、昔ながらの遊びを楽しんでもらう「子どもの森」の開催や、国際交流、世代間交流を目的とした「ハロウィンパーティー」など、子どもから大人まで楽しめる活動を行っています。



設立は昭和40年と歴史ある団体で、平成14年にはボランティア功労厚生労働大臣賞を受賞しました。

代表を務めている橋本真由美さんに、現在の活動状況と団体のイメージについて、お話を伺いました。

Q 現在の活動について詳しく教えてください

A 毎週火曜日の例会には10代から40代までのだいたい12～13人ぐらいが集まり、七夕飾りの作成や緩和ケアの勉強会、障がい者乗馬会の勉強などを行っています。

Q 団体のイメージを色、形、季節、時間で教えてください。

A 色は青、赤、白です。形は多角形です。季節は冬以外です。時間帯は、夕方18:00～です。

一関世代にかける橋(B. R. G) ボランティア募集中

毎週火曜日

18:00～21:00

山目公民館

0191-23-9721(橋本)

地縁団体
紹介

室根第12区自治会

室根第12区自治会は、92戸で構成され、住民総参加の住民自治により交流活動実践を進めています。下部組織として、「水車村」「ひこばえの森分収林組合」が設置され、平成4年には、集落の若者たちが中心となり「水車のある集落づくり構想」を策定し、今日の様々な活動へと続いています。

農業生産面では、自治会が中心となり担い手農家と連携、農作業の分担や共同化の取り組みなど、生産コスト軽減のため集落全体で営農をしています。

生活・環境整備面では、水車小屋の復元、「水車まつり」「こっこん市」の開催、宮城県気仙沼市のNPO法人森は海の恋人と連携して「森は海の恋人植樹祭」を開催し、広葉樹の植樹に取り組み、森川海とつながる生態系保全に貢献しているとともに、学校授業の学習場や体験型教育旅行として受入れも行っていきます。

最近の取り組みとしては、女性部のあり方を考え、福祉部へと編成し、地域福祉活動の実践グループとしたり、地域特

産の矢越かぶを復元し、加工品として商品化することにより産業を生み出し、地域の雇用創出にむけ「ひこばえ食工房」を運営しています。「かぶらムース」は、地元室根の旬菜館で販売しているほか、地元小学校の給食に使われています。



今年の「森は海の恋人植樹祭」は、6月6日(日)に開催されます。

室根第12区自治会 自治会長 三浦 幹夫